



青山学院女子短期大学同窓会会報

第50
秋号
2024

「主ご自身があなたに先立って行き、あなたと共に
おられる。主はあなたを置き去りにすることも、
見捨てることもない。恐れてはならない。
おののいてはならない。」 申命記31章8節

同窓会設立50周年に想う

25期会長 44J 依田 静江



新緑の美しい
5月18日、関根
茂青山学院校友
会会長をご来賓
にお迎えし、旧
短大の先生方
ご臨席を賜り、

記念すべき第50回定期総会を開催できま
したことに感謝申し上げます。また5年
ぶりに短大礼拝堂での開催も大きな喜び
でした。礼拝に始まり、議事は総会次第
に従って粛々と進められ、全ての議案に
承認をいただき無事終了いたしました。

第2部の青山学院大学コミュニティ人
間科学部准教授小林瑞乃先生によるご講
演は、女子短期大学の教育や伝統を深く
掘り下げたお話で、とても興味深く心に
響くものがあり母校への愛がさらに強く
なったように思いました。

2022年10月27日、文科省の通達を
受けて母校は閉学し、短大の施設は学
院・大学管理の下に置かれ、同窓会は今
までの活動の場所を失いました。一時は
活動の休止をも考えた状況の中で、短大
の女子教育や伝統を引き継いだ青山学院
大学スクーンメーカー記念ジェンダー研
究センターの存在は救いでした。同窓会
活動の拠点としてその施設を使わせてい
ただき、現在は生涯学習等の活動を以前
にも増して活発に展開しております。

閉学に伴い、同窓会は転換期を迎え、
運営・活動の見直しなどの検討課題に直
面し、模索しながらも真摯に取り組み走
り続けて早3年。気がついてみれば、今
年設立50周年という大きな節目の年を迎
えることになりました。

1974年の設立以来、先輩の方々が
弛みない努力を重ね伝統を紡いでこれら
れ50年の月日が経ちました。その並々な
らぬご尽力に対して、心からの感謝の気
持ちと共に敬意を表したいと存じます。
また、いつもご支援をいただいている学
院や旧短大関係者そして校友会の皆さま
にも感謝の気持ちでいっぱいです。

50周年を祝い、9月16日に大学同窓祭
参加として学院連携本部協力のもと、短
大地下食堂にて「記念懇親会」が開催さ
れ、大勢の同窓生が集い盛況のうちに閉
会しました。他にも講演会・観劇会・ツ
アー等の記念行事（会報5、6ページ参
照）を企画しておりますので、ご都合が
よろしければ皆さまぜひご参加ください。
これからも厳しい状況の中での同窓会
活動が予測されますが、そこを皆で乗り
越えて10年後にまた60周年を共に祝い
できますよう願っております。

※同窓会の財政が逼迫しております。
同窓会活動の存続のために年会費納入
にご協力くださいますようお願い申し
上げます。

同窓会会長選出について

同窓会第25期運営委員会は、2025年3
月31日で終了します。同窓会会則第十一条に
より、次期同窓会会長の選出を行います。つ
きましては、会員の皆さまに会長候補者のご
推薦をお願い申し上げます。なお、同窓会細
則第五条により会長候補者は会員2名以上の
推薦により選出され、推薦にあたっては候補
者本人の意思の確認を行うと定められており
ます。会長候補者を推薦する場合は、候補者
の意思確認の上、会長候補者氏名及び推薦者
2名以上の氏名を記載した所定の書面により
11月末日までに選挙管理委員会までお届け
ください。お問合せは同窓会室まで。

同窓会クリスマス礼拝

日時 12月14日(土)
10時30分～11時30分
場所 短大礼拝堂



詳細は18ページをご覧ください。

主な内容

	頁
・ 巻頭文	1
・ 総会報告	2～4
・ 追悼文	5
・ 50周年記念行事	5～6
・ 支部だより	7～10
・ 学科会	11～17
・ 事業部	18～19
・ 図書館利用について	19
・ 運営委員会	20